

石原知事定例記者会見コメント

（平成15年1月10日）

- ・今朝、扇国交大臣が、外環に関する国交省のスタンスを発表しました。
- ・国とは、打ち合わせをしてきたことであり、ご案内のとおりであります。
- ・根本龍太郎さんが33年前に凍結宣言し、時流に押されて、以来、ほったらかしになったわけですが、外環がつながるとつながらないとではずいぶん東京は今日の状況は違ったと思います。
- ・交通網というのは、何回も言っているように文明というものの絶対必要条件でありまして、そこで人や物や情報が行き交うわけです。
- ・それが致命的に欠落したということではずいぶん東京は割食ったと思います。
- ・私からも要請しまして、やりましょうということで、歴代の自民党がやらなかったことを、扇大臣が決断し、凍結解除をして、結局今日この形になりました。
- ・できるだけ安く、早くということは当たり前のことですが、それを目途にいろいろ策を講じようということです。
- ・大深度という法律もできました。これは実は、何年前ですかね、15、16年前、私が運輸大臣の時に、西武の堤義明さんから、所沢から複々線にして新宿に電車を引きたいと相談を受けた。
- ・40m、50m下に住む人や、そこまで基礎を打つビルもめったにないので、それであれば補償すればいいのだから、そういう法律を作ろうと言ったのです。
- ・あの時、建設省は、自動車の道路には適さないことだから、排気の問題なんかもあるし、私たちはもうはずれますって傍観したら、あの頃、通産省が何を狂ったかすぐに横やりを入れましてね、地下の倉庫を作るとか作らないとか、その換気をどうするかということで問題あるって言って、ホールドかけて、そのうち棚上げになった。
- ・やっこの時代の非常に狭隘で不便な大都会にはこういう法律が必要だろうということで、大深度の法律ができた。
- ・つくりはしたけど今度は、適用する事例がなかったんですけども、2001年にできた大深度法を初めて適用して、地下の構造ですね、この高速道路をつくろうということになりました。大変結構だと思います。
- ・都としても今後、国と協力して、計画の具体化を図るように努力をしますし、地元の皆さんにも是非ですね外環の早期完成に向けてご協力を願いたい。
- ・インターチェンジをどうするか、いろいろと問題ありまして、つくるとその

数だけお金がかかりますし、まあ10数キロまっすぐつなげちゃっていいじゃないかという案もあるけども、国交省側はいくつかのインターチェンジを想定しているようですが、それ以上に数が増えるか増えないか、これからの調査によると思います。

質問

A新聞） 現在地元の住民とか自治体とかと、必要性の是非から協議するという事で、その話し合いの半ばだと思いますが、凍結を解除して、作るという事で、もう進めていくという事で、という考えで。

知事）

- ・そうですね、そのために凍結を解除していただいた。だからあとどういう条件、どういうふうに折り合って、その事を成就するか。それはもちろん地元の方々の有利不利もあるでしょうし、しかし都全体のことを考えて、冷静な話し合いというものをしたいと思います。
- ・俗に年間3000億円とかね。関越、東名高速の間を今まで1時間半位かかったものが12分に短縮できるという、そういう効果がある訳です。いろんな立場の人がいるでしょうが。

N新聞） 知事としてインターチェンジをつくる上での考え方は。

知事）

- ・これは私、あの沿線の詳細な調査をしているわけではないし、データは持っていませんが。わずか10数kmのもので、東京のように非常に煩雑な、いろんな道路が大小結び交錯しているところで、最低限いくつかの幹線につなげるインターは不可欠だろうという認識は持っています。
- ・一方、地元の事情で、ここにどうしてもつくれという要求もありますし、ここにつくるのはやめてくれという要望もありましてね。そこらへんやっぱりこれから勘案して、できるだけ合理的な地下高速道路をつくりたいと思っています。

B放送） 深いところの道路、直下地震や自然災害に対応すること、それから地下で事故が起きた場合の対応について、知事としての考えはどうでしょうか？

知事）

- ・ こういう技術の時代だからですね、それだけの構えで構築するかぎり、あらゆる事故というものを想定して、まったく安全とまではいかないにしても、それを未然に防くなり、被害を少なくする手だてというのは、日本の技術を持ってすればゆうに講じられると思います。
- ・ こういう点でずさんだったということの後で慚愧するようなものにはしたくないと思っております。かならずできると思います。
- ・ 千鳥ヶ淵の、霞ヶ関トンネルで、長いお堀の下をくぐっているトンネルを走るとき、地震が来て、その天井よりも横の壁が破れて、お堀の水が流れてきたらどっち逃げようかななんて考えるけど。
- ・ 阪神大震災でその後、東京の高速も補強しました。
- ・ そういう手だてだっているんな事を想定して、道路をどうするか尽くしていくべきだと思います。